

はが おいしいお弁当を届けるために

調理ボランティア代表者会議を開催



「新しいボランティアを増やしたい」等の意見交換

社協の「配食（給食）サービスマニヤ」は、たくさんの調理・配食ボランティアの協力で実施しています。

波賀支部では、5月9日に「調理ボランティア代表者会議」を開き、事業内容や衛生面の注意事項を確認しました。意見交換では、日頃の活動をはじめ、調理の仕方やボランティアの抱える悩み、今後の活動について話し合うことができました。今後もこの会議は定期的に行っていく予定です。また、実施回数や利用料な



昨年は、1万5千494食のお弁当を利用者のお宅へ届けました。

ど重要な変更をする場合は事業に関わる利用者、調理・配食ボランティア、社協理事が協議する「配食（給食）サービスマニヤ委員会」を開き調整しています。

今後、この運営委員会を各支部に設置し、対象者の見直しや実施回数などを協議しサービスマニヤを目指します。

（波賀支部 森井裕矢）

ちくさ

みんな笑顔いっぱい

「善意の日パレード」

千種支部では、6月1日の「善意の日」にちなみ、千種幼稚園児49名による啓発パレードを行いました。

このパレードは、市民に「善意の日」を呼びかける取り組みとして恒例となっており、園児の

初々しさも加わり、市民が「善意のこころ」を再認識するよいきっかけとなっています。

園児たちも子どもなりに「善意の日」を理解しているようで、「きょうは、なにか



大きな声で「おはようございます」これがぼくらのできる『いいこと』



町内商店街を、風船や花の種を配りながら歩きました。

ひとついいことをする日なんやろ。」「ぼくらあいつつもええことしよる。おてつだいとか。」「ごはんつくるんてつだう。」「かたたたきしたげる。」と、頼もしい声を聞くことができました。

商店街では、多くの住民が店先に出て、元気いっぱいの園児のパレードを、笑顔で見守られていました。

栄栗市社協では、この園児たちや住民みなさんの笑顔のために、一人ひとりの善意をあつめ、誰もが安心して暮らせる福祉のまちづくりを進めていきます。

（千種支部 山本めぐみ）